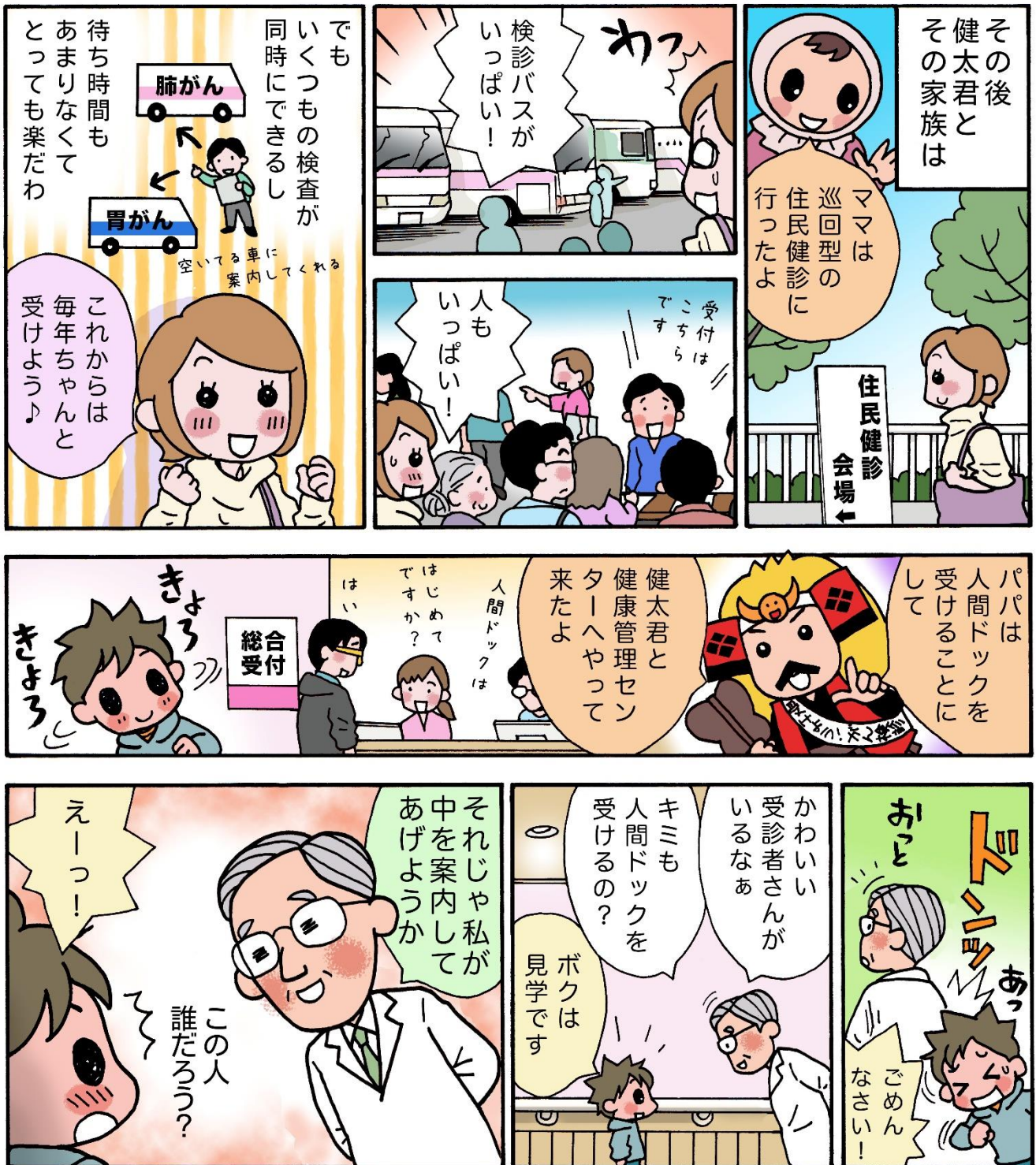


# がんのはなし vol.5



今回のテーマ

# がん<sup>けんしん</sup>検診<sup>けんしん</sup>について知ろう!

前回、がん<sup>けんしん</sup>検診の種類について学習しましたが、具体的にはどんな検査をしているのでしょうか。がん<sup>けんしん</sup>検診の種類ごとに見てみましょう。



## 胃がん検診(胃内視鏡検査)

細い管状のカメラを口や鼻から入れて胃の内部を観察する検査です。

病気かもしれない場所があった時には、その部分を採って本当に悪いものなのかを調べることもできます。

「胃カメラ」とも呼ばれているよ



## 胃がん検診(胃部X線検査)

X線を使って、胃の内側を撮影する検査です。胃を膨らませる発泡

剤と、胃の表面をきれいに写すためのバリウムという液体を飲んでからX線で撮影すると、病気の影などが分かりやすく写ります。撮影する部分にバリウムが付くように、上下左右に回転する台に乗って、体や台を動かしながらX線写真を撮ります。



バリウムを飲んで白く写っている胃↑



## 肺がん検診(胸部X線検査)

肺や心臓、そのまわりにある骨などに、病気が隠れていないかX線を使

ってチェックする検査です。撮影するパネル(赤い矢印部分)に胸をつけて立ち、息を大きく吸ったまま止めます。息を吸うことで肺の隅の方まで写り、広い範囲を見られるからです。後ろのX線管(黄色い矢印部分)という機械からX線を発生させて撮影します。



撮影装置



検査画像



## 大腸がん検診(便潜血検査)

便に血が混ざっていないか調べる検査です。血が混ざるのは、大腸

がんなどの初期に見られる症状だからです。目に見えない程の少ない出血でもこの検査で見つけることができます。ただ、出血が確認できても何が原因かまでは分からないため詳しい検査が必要です。

便は右写真のような採便スティックを使ってとります。先がブラシになっており、ここで便の表面をこすって容器に入れます。



採便容器



## 子宮頸がん検診(細胞診)

お腹のあたりからカーテンで仕切られた内診台(上向きに寝て膝が

開くイスの様なもの)に乗って検査します。

診察は①視診(医師が器具を使って、子宮の中の様子を見ます)②細胞診(専用のブラシで、子宮の入り口の壁を軽くこすり細胞を取ります)③内診(右手でお腹を押しながら、左手で子宮や卵巣を触り、両側から大きさや腫れがないか確認する検査)を行ないます。

## 乳がん検診



### 乳房X線検査(マンモグラフィ)

乳房を片方ずつ検査台の上に乗せて、上から板で押さえて平たくして

X線で撮影します。乳房を平たくすることで、病気がより分かりやすく写ります。撮影は上下とななめ方向から行ないます。



マンモグラフィ装置



### 乳房超音波検査

診察台に上向きに寝転び、超音波

を出す専用の器具をあてて、乳房

の内部を映します。この時、よく映るように肌にゼリーを塗ります。映像は画面に表示されるため、気になる場所を色々な角度から観察し、しこりなどが無いか調べることができます。小さなしこりや、深い場所にあるしこりを見つけるのに優れています。

## 検診にかかわる職業



### 医師

胃カメラ検査や子宮頸がん検診のほか、各検診の写真を確認して異常を見つけます。



### 看護師

検査の前に、現在の体調などを聞き取ったり、医師の診察の補助をしたりします。胃内視鏡検査では、受診する人の背中をさするなど、安心して検査を受けてもらえるような色々なサポートをします。



### 診療放射線技師

医師の指示のもとで、放射線(X線など)を使った検査をする専門家です。ここで紹介した検査だと、胃がん検診(胃部X線検査)、肺がん検診、乳がん検診(マンモグラフィ)を担当します。



### 臨床検査技師

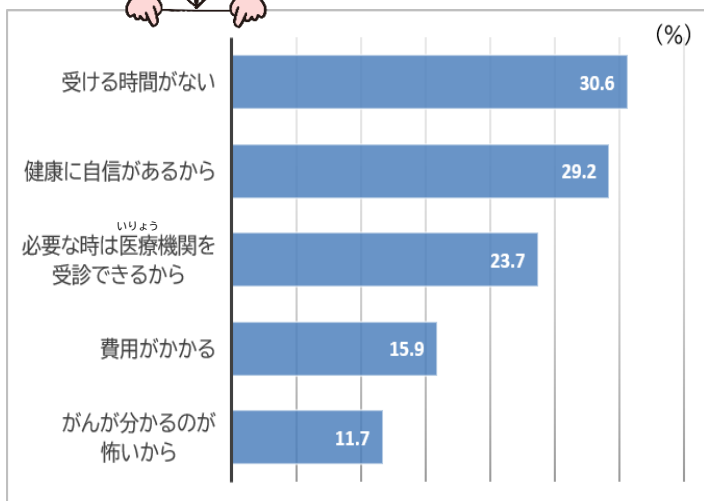
医師の指示のもと、検体検査(人の体から採った血液や、尿や便などを用いた検査)と生理検査(人の体を直接調べる検査)を行ないます。ここで紹介した検査だと、大腸がん検診と乳がん検診(乳房超音波検査)を担当します。

# がん検診を受けない人には、 どんな理由があるんだろう？

前回、がん検診を受けている人は30~40% (山梨は約50%ほど)であると学びましたが、受けない人の理由はどんなものがあるのでしょうか。国の調査によると下のグラフのような理由が多いようです。



みんな、  
いろんな理由があるんだね



がん対策に関する世論調査(内閣府 H28)

この他にも、ここ数年は「コロナウイルスへの感染が怖いから、検診に行かない」という人も多くいました。その影響もあって、2020年は4万5千人もの人のがんが放置されてしまったと予測されています。

これは今後、進行した状態で見つかるがんが増えるという事につながるため、とても深刻な問題なのです。

検診について知ることができましたか？  
定期的に検診を受けて、隠れたがんが無いか確認することが大切です。

次回号では、検診のほかにがんを予防するためにできることを学びましょう。

次回号は

「がんを予防するには」

- 規則正しい生活
- 生活習慣
- 食生活について



がん教育情報誌「がんのはなし」vol.5

発行日 令和4年6月 日  
発行者 山梨県厚生農業協同組合連合会  
監修 山梨県厚生連健康管理センター  
所長 依田 芳起

〒400-0035 山梨県甲府市飯田1-1-26  
電話 055-223-2122  
WEB <https://www.y-koseiren.jp>

